



ナイトセッション で質的研究を学ぶ



イギリス在住の日本人研究者 大竹裕子先生から質的研究を学ぶヘルスケア領域の少人数制のセミナーです。

現地との時差を利用し、オックスフォード大学等で質的研究を指導している講師によるセミナーが、自宅のリモートで受講可能になりました。
セミナーのスタート時間は、職場から帰宅して家事を済ませた時間帯の**ヨーロッパスタイル**です。ぜひご参加ください。

令和**4**年**3**月開始予定

Basic コース (2か月間に 4回) 各回21時開始、1回120分予定	会員	¥32,000
	会員外	¥44,000
Step Up コース (2か月間に 4回) 各回21時開始、1回120分予定	会員	¥34,000
	会員外	¥46,000

少人数、日本語でディスカッションできるので、ヒューマンヘルス領域の概念整理、質的研究の方法論、インタビューデータの整理、考察の記述法、そして査読対応等、実践的に学べます。

最低催行人数各コース10人（規定人員に達しないときは中止します）

主催：[日本ヒューマンヘルスケア学会](#)

講師紹介

大竹裕子先生



講師 大竹裕子先生から、受講生へのメッセージ：

ヘルスリサーチで世界的に有名なロンドン大学衛生熱帯医学大学院(London School of Hygiene and Tropical Medicine)で質的研究の博士号を取得し、その後、東京大学医学研究科、オックスフォード大学、ロンドン大学などで質的研究の指導をしてきました。また、BMJなどインパクトファクターの高い国際誌において質的研究の査読もしています。

医療人類学英国学派の創始者であるマリー・ラスト名誉教授、『医療のための質的研究(SAGE出版)』著者のジュディス・グリーン教授、『ナラティブ研究の実践(SAGE出版)』著者のコリーヌ・スクワイヤー教授といった優れた教授陣から指導を受ける機会に恵まれ、質的研究法を身に着けました。質的研究のエッセンスを、少しでも多くの日本の研究者の皆様と分かち合えたら幸いです。

本コースでは、研究計画から論文執筆までをグループワークで学べます。講義、グループ実習、質疑応答の流れを大切にして、楽しみながら疑問を解消し、エッセンスを習得していきます。

こんなモヤモヤがある方はぜひご参加下さい！

- ◆研究者の主観ってどう扱うの？ ◆サンプリングはいつ止めるの？
- ◆科学性や妥当性はどうか判断するの？ ◆倫理申請が通らない！
- ◆考察はどう書くの？ ◆質的研究って政策に影響を与えられるの？

皆さまにお会いできるのを楽しみにしております！

現職

- ・オックスフォード大学 平和学会理事
(Oxford Network of Peace Studies Steering Committee Member)
- ・アントワープ大学 招聘上席研究員
(Honorary senior research fellow)

専門分野：心理学・医療人類学・疫学

略歴：東京大学医学研究科（非常勤講師）、オックスフォード大学医療人類学部（日本学術振興会海外特別研究員）、国連パレスチナ難民救済機関（リサーチアドバイザー）を経て現職。

受賞歴：質的心理学会若手賞、コミュニティ心理学会若手賞など多数。

講師の業績等は下記URLをご参考にしてください

<https://scholar.google.co.uk/citations?user=Uf0kQoIAAAAJ&hl=en>

<https://dr-yuko-otake.webnode.com/>

<https://youtu.be/NTYsNkel944>

全コース 日本時間21時開始

1. Basic コース4回

想定している参加者

- 質的研究を始めたい研究者・大学院生
- 大学院で質的研究を指導する教員
- 将来、質的研究の共同分担者になりたい方
- 質的研究論文の査読経験のある方
- 質的研究論文を査読する予定の方
- 上記の人たちと交流したい質的研究の初心者♥

3月 23日 (水)

4月 6日 (水)

4月 20日 (水)

5月 11日 (水)

欠席の場合は、オン
デマンドで視聴可能

- [1] 質的研究の理論と実際
- [2] 自然科学と社会科学の認識論
① 現実と解釈、主観性
- [3] 自然科学と社会科学の認識論
② 実証主義、現象学、社会構築主義
- [4] リサーチクエスチョンの作り方

目標：講義とグループワークを通じて質的研究の基盤にある理論を学ぶ。質的研究における①「主観」の扱い、②対象の見方、リサーチクエスチョンの立て方（量的研究との違いを含む）、③混合研究の方法論を理解する。

2. Step up コース4回 (Basicから継続受講してください)

5月25日 (水)

6月 1日 (水)

6月 8日 (水)

6月15日 (水)

欠席の場合は、オン
デマンドで視聴可能

- [1] 現実の課題からリサーチクエスチョン (RQ) を立てる
- [2] 対象者とサンプリング法の選定方法
- [3] データ生成・分析法を選ぶ
- [4] 省察と倫理

目標：①現実の課題からRQを立てて、②最適な研究デザインを選ぶようになる。研究者の主観をどう扱うか、サンプリングをいつ止めるか、質的研究の科学性、妥当性、信頼性について理解する。

セミナー開講にあたって皆様にメッセージ

日本ヒューマンヘルスケア学会
理事長 西川まり子

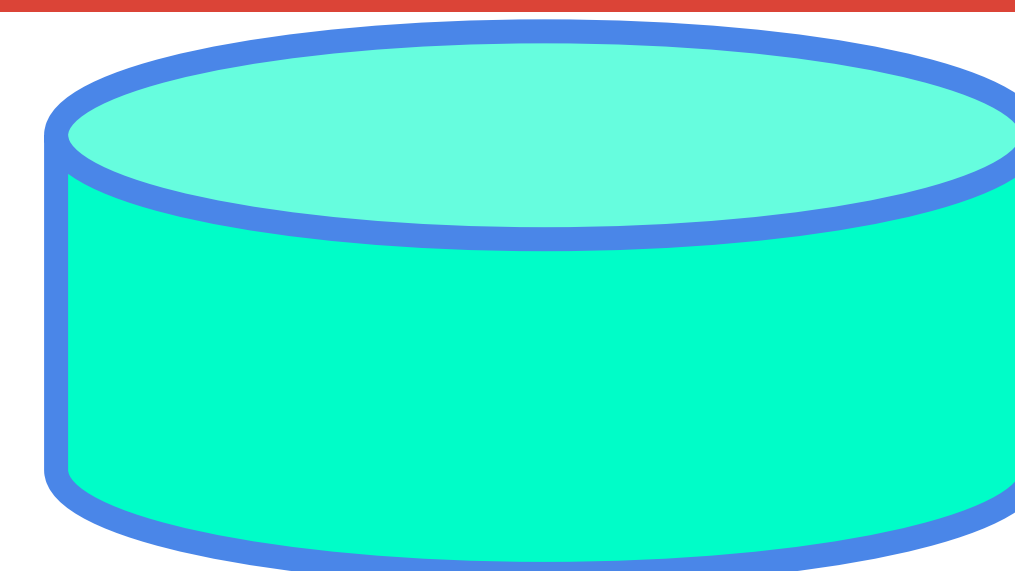
長引くコロナ禍の下、看護、福祉、健康領域の研究・教育を担う皆様におかれましては、特にさまざまな制限・工夫を強いられる日常をお過ごしのことと存じます。そのような中、当学会では質的研究の少人数制セミナーを企画を致しました。

看護や健康支援領域で、人々の複雑な行動を「なぜ」「どのように」「何がおきている」と探求するには、数量的な研究だけでは到達できない事象があることは、皆様もお気づきのことと思います。そのような時は、質的研究によるアプローチが有効となります。質的研究は、人々の心の思いを言語データなどで収集し、概念や意味を分析する方法であり、量的研究とは車の両輪にあたる研究と言えます。しかしながら、質的研究を系統的に学び、各自の研究主題にフィットするような参加型セミナーが整っているとはいい難い状況です。独学で頑張っても、質的データのテクニカルな取扱い手法に悩み、表記方法や用語の意味解釈、英語の壁に突き当たるでしょう。

いま、あなたが思い描いている質的研究のテーマは、おそらくダイヤモンドの原石でしょう！理論に基づき、1つ1つ丁寧にご自分の研究として磨き上げるような学びの集いに参加してみませんか？

皆様と、質的研究を共に熱く語る時間が持てますことを楽しみにしております。
どうぞ、よろしくお願いいたします。

申込フォーム



1次締切 3月9日
AM11時

こちらのForm（文字・図形）をクリックして申し込んでください。
所属、氏名、質的研究の経験、公費請求書類などの希望を把握します。
円滑で楽しい学びにするために、セミナーの参加者に限定してプロフィールを共有する予定です。
都合がよくないときは、遠慮なく備考欄に書いてください。

Basic コース（2か月間に4回）

会員 ¥32,000 会員外 ¥44,000

Step Up コース（2か月間に4回）

会員 ¥34,000 会員外 ¥46,000

最低催行人数各コース10人

（規定人員に達しないときは中止します）